

事業所名 オリーブ（児童発達支援事業所）

支援プログラム

作成日

7年

3月

29日

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|---|----|-----|---------|----|---|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 児童福祉の理念に基づき、すべての児童、家庭及び地域社会の幸せのために事業を行う | | | | | | | |
| 支援方針 | | 「キラキラ輝くこどもたち」 ①素直でやさしいこども 素直な目で物事がみられるように ②健康で明るいこども もっと体を使って遊ぼう ③自主的なこども 自分の気持ちを表現できるように | | | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分 | 15時 | 0分 | まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達に応じて生理的、心理的欲求を満ち心地よく生活をする 健康状態をきめ細かく観察し、発達の過程や特性に配慮し、小さなサインも見逃さない 基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援する 生活に必要な習慣に気づき、食事、排泄、着脱等身の回りのことを、自分でしようとする 遊びを通して学べる環境を整え、障がいの特製に配慮し、時間や空間をわかりやすく構造化する | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な体の動きを楽しみ、自分から体を動かす遊びを楽しむ 姿勢の保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化に取り組む 各種運動や動作が困難な場合は、補助用具等の手段を検討し、支援する 保有する感覚を十分に活用できるように、遊びを通して保育する 感覚や認知の特性を理解し、感覚の偏りに対する環境調整を行う | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、認知機能の発達を促す 認知した情報を行動につなげられるよう発達を支援する 物の機能や形、色、空間、時間等の概念の形成を促し認知や行動の手がかりとして活用できるように 数量、大きさ、色の違い等の習得のための支援を行う 適切行動への対応の支援を行う | | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> 保育士等との質の高いやり取りの中で言葉に興味を持つ 具体的な事物や体験と言葉が結び付けられるよう、体系的な言語の習得、自発的な発音を促す 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりすることができるよう支援する 指さし、身振り、サイン等を用いて意思の伝達ができるよう支援する 特性を理解し、個別に合わせた読み書きの向上の支援を行う 電子機器等様々な手段を使える環境を用意し、自分の考えが伝えられるよう支援する | | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 保育者等身近な人との信頼関係をしっかり築き、そこを基盤とし人間関係が広がっていくよう支援する 積極的に様々な人と関わる機会を作り様々な人がいることに気が付くようにする 遊び等を楽しみながら、時には模倣したりすることにより社会性や人間関係の芽生えの機会をつくる 感覚機能を使った遊びや運動遊びから、見立て遊びごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達が促されるよう支援する 日々の遊びや生活の中で自分のできること、できないことなど自分の行動の特徴を理解し気持ちや情動が調整できるよう支援する 集団遊びを経験し、自分から集団遊びに入っていけるよう支援する | | | | | | | |
| 家族支援 | 1. 心理的サポート 2. 情報提供と教育 3. 家族間の交流機会の提供 4. 支援計画の共有と見直し | | | | 移行支援 | | 1. ライフステージの切り替え支援 2. 地域社会への参加促進 3. 個別支援計画の作成 4. 家族支援 5. 環境調整 | | |
| 地域支援・地域連携 | 1. 関係機関との協力 2. 地域イベントの参加・実施 3. 地域団体とのパートナーシップ 4. 家族と地域のつながりづくり 5. 支援体制の構築 | | | | 職員の質の向上 | | 1. 定期的な研修と講座の実施 2. 資格取得の支援 3. チームビルディングとコミュニケーション強化 4. 外部専門家との連携 5. 自己評価とフィードバック制度 6. 働きやすい環境の整備 | | |
| 主な行事等 | 季節などに合わせた行事を実施（お花見、七夕祭り、プール遊び、買い物体験、電車体験、クリスマス会、たこあげ、避難訓練、交通指導等） | | | | | | | | |